

昭和三十七年度総会 八月二十七日

○研究発表（午前九時半より）

(1) 佐田古文書を訪ねて

大隈米陽

(2) 津久見で発掘した動物の化石

増村隆也

(3) 木付鎮秀・田原親賢等について

水口忠孝

(4) 円寿寺本大盤若経の言語学的研究

立川輝信

(5) 丹生旧石器について

富来隆

○特別講演（一時半より）

窮理道の引用 和蘭書目について

高山虔三

出席者 約五十名

編集後記

諸種の事情で、発行が大変おくれましたことを深くお詫び申し上げます。引続いて、第二十九号を出しますので、原稿を大至急にお送り下さい。図版・写真は最少限にお願いします。

会費未納の方は、どうか大至急御納入下さるようお願い致します。本年度より、年会費五〇〇円に増額されました、念のため申し添えます。  
(兼子記)

昭和三十七年十二月二十九日 印刷 本号頒価 一五〇円  
昭和三十七年十二月三十日 発行

(非売品)

編集兼 渡 辺 澄 夫  
発行人 代表者

印刷人 高 井 久 雄

印刷所 大分市上野 電話②三七七五番  
三惠印刷株式会社

大分市駄原 大分大学文学部  
国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会

(振替下関五二九四番)